

陳 情	受 理 番 号	127	受 理 年 月 日	令和5年8月31日	付 託 委員会	総 務
件 名	那覇市印刷物入札制度改善に関する陳情					

那覇市印刷物入札制度改善に関する陳情

(理由・背景)

各市町村が2021年度に印刷業務を委託した案件の中に、最低制限価格制度がないことから、適正価格を極端に下回り落札された案件が多く見受けられます。

ご高承のとおり、現下の中小印刷業界は、先行きの全く見えない状況にあります。新型コロナウイルスの感染拡大による経済不況や、急速なデジタル化の意向による影響を大きく受けております。加えて、印刷用紙や諸原材料および物流費の高騰等が、さらに厳しい追い打ちをかけております。

これまで、沖縄県は当組合との意見交換によって、入札制度の改善に真摯に取り組んでいただきました。その結果、沖縄県が印刷業務を委託した案件では、最低制限価格を下回る案件は少なく、改善傾向にあります。

しかし、沖縄県の入札制度の改善内容を各市町村が行っていないため、各市町村の入札制度は改善に至っておりません。そのため、現在も適正価格を極端に下回り落札された案件が多く見受けられます。

ついては、下記事項につき配慮してもらいたく、陳情します。

記

下記について昨年5月に同様の陳情を行い、令和4年6月28日の本議会において、陳情番号66号として採択されているが、未だ実行されていない理由を教えてください。

(願意・要望)

各市町村が実施している入札制度は、概ねダンピング価格での落札につながっています。つきましては、県の行う入札制度を参考に検討していただきたい。

契約形態を

- ①物品売買の制度から製造請負制度への資格変更していただきたい。
- ②見積り基準価格を制定し、最低制限価格制度を設ける。
- ③入札参加資格の要件の一つとして県内に本社を置く企業とする。

以上